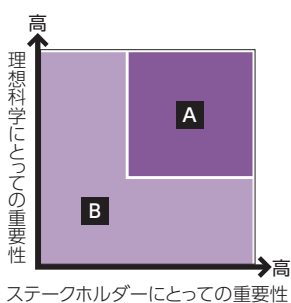


編集方針

理想科学は2004年に「環境報告書」を発行し、以降、当社の環境保全活動についてご報告してまいりました。2006年からはタイトルを「環境経営報告書」と変更し、環境や社会とのかわりが経営にどのように反映されているかを、わかりやすくお伝えしています。本年版では、理想科学のことを初めてお知りになる方にも当社の活動の概要をご理解いただけるように、主要製品の特徴と活躍の場を簡潔にまとめた印刷業務の効率化と環境負荷低減を両立する「理想科学の製品」を新設したほか、開発、生産、物流など企業活動の流れに沿って、環境保全活動をご紹介します。また、できるだけシンプルな記載に努め、CO₂排出量やリサイクル関連などの暦年データは、後半の「データ編」にまとめました。より詳細なデータについては、Webサイト(<http://www.riso.co.jp/>)に掲載の「データブック」をご覧ください。

例年と同様、読みやすさ、わかりやすさへの配慮から、カラーユニバーサルデザインを取り入れて制作いたしました。

報告媒体について



本報告書は冊子とWebサイトから構成されています。

A 冊子では広くステークホルダーの皆様全般を対象とした内容を掲載。
…本冊子で掲載

B Webサイトでは「本冊子」Aに加え、より詳細なデータを「データブック」として追加し掲載しています。
…Webサイト掲載

報告対象範囲

国内については、理想科学工業株式会社および理想沖縄株式会社の全事業所ならびに全営業拠点を報告の対象範囲としています。海外については、理想科学グループの生産拠点を環境負荷データの対象範囲とし、非生産事業所の電力、燃料(社有車燃料を含む)、水の使用量についても一部対象範囲としています。

※対象範囲の詳細はデータ編に記載しています。

報告対象期間

2011年4月1日から2012年3月31日まで。

ただし、この期間以前もしくは以降の活動内容も一部含まれます。

発行年月

2012年8月 ※次回発行は2013年7月を予定しています。

目次

- 3 ごあいさつ
- 4 理想科学の環境方針
- 5 理想科学について
 - ①あゆみ
 - ②グローバル展開
 - ③環境への取り組み姿勢
- 9 理想科学の製品
- 11 企業活動を通じた環境保全
 - 11 企画・開発・設計
 - 13 調達・生産
 - 15 物流
 - 17 営業・サービス・コミュニケーション活動
 - 19 回収・リユース&リサイクル
- 21 社会とのかわり
 - 21 お客様とのかわり
 - 22 サプライヤーとのかわり
 - 23 株主・投資家とのかわり
 - 24 地域・社会とのかわり
 - 25 社員とのかわり
- 27 マネジメント
 - 27 経営体制
 - 29 環境マネジメント
- 31 データ編
 - 31 環境負荷の全体像
 - 33 海外事業所の環境負荷
 - 34 環境／社会関連データ
 - 35 環境会計
 - 36 会社データ
 - 37 第三者審査
 - 38 事業拠点一覧